

報道関係者各位

24.岐阜県版

2017年09月吉日

4年目の大変革！キーワードは「物語」
地方新聞社のアツいご当地自慢“田舎まる出し”のキラリを決める

『全国の地方新聞社が選んだ！こんなのあるんだ！大賞2017』
やるんやって～

平素は岐阜新聞社に格別のご厚情を賜り、お礼申し上げます。

全国の地方新聞社厳選お取り寄せサイト「こんなのあるんだ！47CLUB（よんななクラブ）」で、もうすぐ“全国の地方新聞社が選んだ！『こんなのあるんだ！大賞2017』”をやるんだと。「なんやそれ」？それはご無体な。これはやな、47CLUB事業に入ってる地方新聞社45社46紙がわっちらの県の、「こんなのあるんや！」て思わず言ってしまうような、面白そうで、で、すごいもんを見つけて、年にいっぺん、みんなで大賞を決めるおめでたーい賞なんやて。今年で4回目やわな。公式サイトもあるで、（<http://www.47club.jp/kon-aru.award/index>）ちゃんと見といて、その日は絶対取材来てまえんかなも！

今年は更なる進化を遂げる「こんなのあるんだ！大賞2017」

キーワードは商品の持つ「物語」と、地元新聞社の「日々の活動」

2017年度 岐阜県のエントリー商品はこれだで、応援頼むで、えかつ！

【岐阜県代表】

ぎふROSE GYOZA

【岐阜夢餃子製作所】

<http://www.47club.jp/23M-000051stm/goods/detail/10110573/>

岐阜県の意外な自慢は、実は「バラの生産地」だということ。岐阜市から西へ15Kmほどの距離にある本巣市や大野町、神戸町はバラ苗の産地として知られ、皇太子妃雅子妃殿下をイメージした「ハイネス雅」や愛子さまをイメージした「プリンセスアイコ」も岐阜生まれのバラです。「ぎふROSE GYOZA」を生み出した岐阜夢餃子製作所も本巣市にあります。

「ぎふROSE GYOZA」はバラの花弁をイメージして作られ、具材は消臭効果があるとされる生姜とマッシュルームを使用し塩味で整えました。たれにはオリジナルのローズビネガーを使い、花弁に注ぐとバラの香りが立ちます。もちろん、具材に使われる野菜類や豚肉も本巣市産（一部、季節によって変更あり）。主人の鈴木清倉さんが、地元と餃子への愛情をぎゅっと包んだ美味しい一品です。女子力満点の餃子です。

※本リリースの方言・表現は岐阜新聞社47CLUB担当者の独自見解によるものです※

「全国の地方新聞社が選んだ！こんなのあるんだ！大賞2017」（詳細はこちらをご確認ください）

公式サイト：<http://www.47club.jp/kon-aru.award/index>

公式Facebook：<https://www.facebook.com/konaru47/>

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

株式会社 47CLUB（よんななクラブ） 担当：八木（やぎ）・藤井（ふじい）

電話：03-5148-4747 FAX：03-5148-4748 E-Mail：pr@47club.jp